



収穫前の仕上げの管理が肝心！

早期落水は品質を落とす原因

登熟後半には根の活力が低下してきます。水分不足は稲体の老化をより早めるので、**収穫7日前まで間断灌水**を続けましょう。

刈り遅れは品質を落とす原因

今年は7月から8月に平年よりも高温となり、出穂が早まったため、**収穫適期が平年より早くなる**と予想されます。

下の目安表を参考に計画を立て**青刈率20%程度**に達したら収穫を始めましょう。刈り遅れると茶米、胴割米が多くなるので注意してください。

◎ヒノヒカリ(中生品種)の収穫適期目安表

| 出穂期 標高 | 8月20日 | 8月25日 | 8月31日 |
|-----------|-------|--------|--------|
| 0m | 9月27日 | 10月4日 | 10月12日 |
| 150m | 9月29日 | 10月6日 | 10月14日 |
| 300m | 10月3日 | 10月10日 | 10月20日 |
| 450m | 10月5日 | 10月13日 | — |

◎にこまる・あきまさり(晩生品種)の収穫適期目安表

| 出穂期 標高 | 8月25日 | 8月31日 | 9月5日 | 9月10日 |
|-----------|--------|--------|--------|-------|
| 0m | 10月9日 | 10月18日 | 10月24日 | 11月1日 |
| 150m | 10月11日 | 10月20日 | 10月27日 | — |

注) この早見表は、今年の気象データを基に作成しました。

秋ウンカの発生に注意！

収穫の終わっていない所では、秋ウンカ(トビイロウンカ)の発生に引き続き注意してください。

9月・10月は、秋の農作業安全確認月間です！

声をかけあい助け合い作業事故〇へ！

- コンバインの靱詰まりの除去は、必ずエンジンを停止し行いましょう。
- 収穫作業は計画的に、ゆと리를もって行いましょう。